孫を信じる

　たくみくんはクラスで友だちにぼう力をしてしまいます。となりの人とぶつかっただけでけってしまいます。今日もみなみくんをけってしまいました。クラスの周りの子がその様子を見ていました。家に帰りました。たくみくんはお家の人が働いているのでいつもおじいちゃんのお家に帰ります。明日みなみくんをけったことをあやまらなければならないことが嫌で、おじいちゃんに、  
「今日学校で怒られた。校長先生に校長室に呼ばれてお説教されて、教室に帰った後、担任の赤木先生につきとばされた。」  
と言いました。おじいさんはカンカンに怒って学校に文句を言いに行きました。赤木先生と教頭先生は何のことかわかりません。おじいさんの話を聞くと、教頭先生は、「今日、校長先生は出張で一度も学校にきていませんが。」  
と言いました。たくみくんはドキッとしました。おじいちゃんがたくみくんに、  
「校長先生に怒られたの。」  
ともう一度聞くと、たくみくんは、  
「怒られた。」  
と答えました。おじいさんは、  
「孫を信じる。校長先生は学校にいた。」  
と言ってききません。それどころか、みなみくんをけったことも、たくみくんは、  
「うそだ。」  
と言い始めました。おじいさんは、「みなみくんはうそつきだ。」と言いました。









